

シスプラが会計事務所の業務に革新をもたらす 4つのクラウドサービスを発表!!

キーパー財務シリーズでお馴染みの株式会社シスプラ（代表取締役：梶澤均）が会計事務所業務に革新をもたらすという4つのクラウドサービスを新たにリリースすると発表した。今回は本邦初公開となる統合型クラウド財務管理システム「KEEPER Club」について同社の代表取締役社長である梶澤均氏に聞いてみた。



株式会社シスプラ代表取締役社長 梶澤均

まず初めに「KEEPER Club」とはどんなサービスなのでしょう？

「KEEPER Club」は独立した4つのコンテンツにより構成されています。1つめは電子帳簿保存法に対応して電子取引データや証憑書類を保存することができる『DeNCHO（でんちょう）』、2つめは販売管理システムや『DeNCHO』に保存された会計関連資料から仕訳を自動作成できる『KiCHO（きちょう）』、3つめは電子帳簿保存法に準拠した国税関連帳簿や様々な財務分析グラフなどを作成することができる『CHOBO（ちょうぼ）』、そして4つめに財務会計データを変動損益計算に置き換えて予実管理や将来の資金繰り予測することができる『YOJITSU（よじつ）』です。

この4つのコンテンツは「KEEPER Club」という共通のプラットフォーム上でシームレスに連携し、電子帳簿保存から財務会計そして予実管理まで一気通貫で処理することができます。

オープンプラットフォームということですが他社のシステムとも連携できるのでしょうか。

その通りです。「KEEPER Club」は市販

されている19メーカーの会計ソフトとデータ連携することができるようになります。各メーカーの会計ソフトで作成された試算表や仕訳データをインポートすることで「KEEPER Club」の全てのコンテンツが利用できますし、『KiCHO』で作成した仕訳データをエクスポートすることもできます。

会計事務所が顧問先に提供することができるサービスということですが、何か会計事務所に対して特別な対応とか機能があるのですか？

会計事務所さんには顧問先100社分のユーザーIDがセットされたクライアントマネージャーという会計事務所専用の顧問先管理ツールをご提供します。このクライアントマネージャーは会計事務所の顧問先を一元管理することができ、100社の顧問先が「KEEPER Club」4つのコンテンツ全てを利用することができるようになっています。顧問先には「KEEPER Club」にログインするための共有IDを貸与することでデータ共有します。

月額利用料方式で、しかも超低価格なので、会計事務所さんには何の

リスクもなくご利用いただけるのではないのでしょうか。

それでは個々のコンテンツについてお伺いしたいのですが、まず『DeNCHO』についてお聞かせください。

『DeNCHO』は改正電子帳簿保存法に対応した証憑書類の保管サービスです。電子取引データやスキャナ保存した画像ファイルを電子帳簿保存法の保存要件を付与してクラウド上に保存することができます。『DeNCHO』に保存された画像データのうち、領収書や納品書、請求書など仕訳の基となる証憑書類についてはAI-OCRを経由して『KiCHO』に連動し、仕訳を自動作成することもできます。『KiCHO』に作成された仕訳と『DeNCHO』に保存された証憑書類は紐づけられるので、仕訳帳参照画面からいつでも証憑画像を呼び出すことが可能です。

なるほど、入力の効率化と電子帳簿保存の一石二鳥というわけですね。それでは『KiCHO』はどんなツールですか？

『KiCHO』は仕訳入力を極限まで効率化することを目的とした自動仕訳作成ツールです。まず前期に入力された仕訳を取り込むことで、その会社の仕訳パターンを解析し仕訳辞書を自動作成します。この仕訳辞書とマッピングすることで様々な取引の仕訳を自動作成していきます。売上は販売管理システムで作成される日報や請求一覧表等のCSVファイルを取り込むことで仕訳を自動作成します。仕入や経費の支払は『DeNCHO』に保存された電子取引データやスキャナ保存された画像ファイルをAI-OCRで解析し仕訳を自動作成します。銀行の取引明細データや預金通帳のコピーからも仕訳を自動作成します。

このように可能な限り仕訳入力を

せずに仕訳を自動作成するツールが『KiCHO』です。

それは画期的ですね。次は『CHOBO』について教えてください。

『CHOBO』は『KiCHO』で入力された仕訳を基に約50種類の財務分析資料や決算関連帳簿を作成することができます。比較財務諸表や分析グラフなど最大10年間の帳票がインターネット環境さえあればいつでも参照印刷することが可能です。

『DeNCHO』に証憑書類が保存してあれば、10年前の領収書でも仕訳と紐づけられていつでも確認することができるわけです。

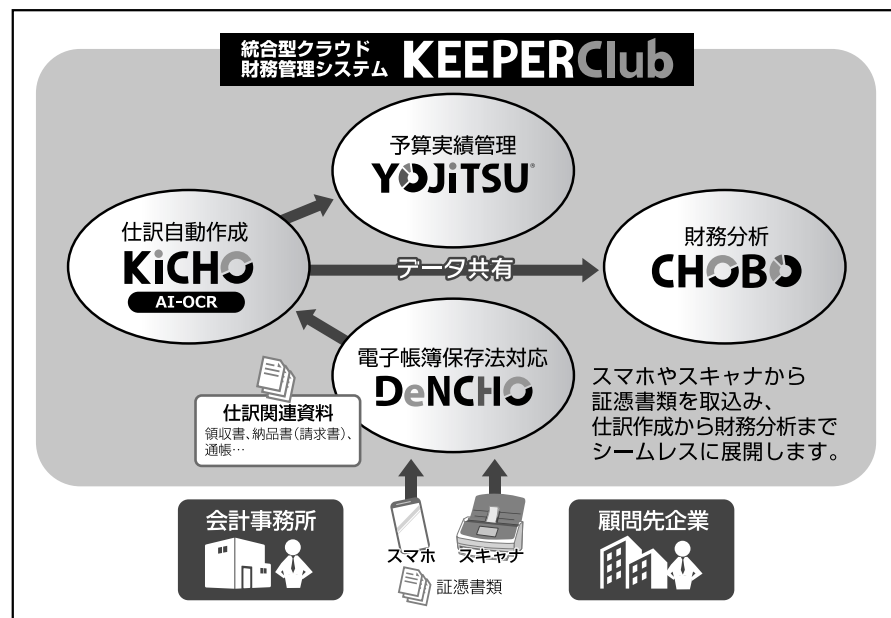
10年分の財務分析資料が確認できるなんて素晴らしいですね。それでは最後に『YOJITSU』のご紹介をお願いします。

『YOJITSU』は一言でいえば、既存の財務会計システムを「未来を見る経営羅針盤」に変えることのできる画期的な予算実績管理ツールです。

『YOJITSU』は確定した前期の決算データからキャッシュフローを赤字にしない目標予算を自動的に作成し、毎月の実績と比較することで現状分析や対策、資金繰り予測等を行うことができます。『YOJITSU』を活用すれば会計事務所の月次業務の付加価値は飛躍的に向上することは間違いありません。

正式リリースが待ち遠しいですが、いつ頃になりそうですか？

「KEEPER Club」の正式リリースは2023年4月を予定していますが、その前にベータ版を順次無償公開しますので、ご期待ください。



RPA搭載 予算実績管理ツール

会計事務所付加価値サービスの決定版!!

YOJITSU®

クラウド上に財務会計の前期実績データを送信するだけで、変動損益構成比率、勘定科目発生比率等を解析し、目標利益から逆算して目標予算を自動作成します。RPA搭載のSTORYにより、様々な角度から予実対比された最大100種類の分析資料が自動作成されます。

試算表
仕訳
前期実績データや
当期の仕訳データ

予算実績管理ツール
YOJITSU®

必達予算・目標予算・理想予算
自動作成 予算計画書
現状分析・傾向分析
自動作成 月次報告書

●シスプラ ●弥生 ●ソリマチ ●MJS ●TKC
●OBC ●JDL ●PCA ●EPSON ●ICS
●応研 ●Mikatus ●freee ●マネーフォワード ●日本ビズアップ
●ビスソフト ●フリーウェイジャパン ●SMILE ●わくわく財務会計

クラウド予算実績管理ツール
YOJITSU® <https://yojitsu.net/>

【運営】株式会社シスプラ ☎0120-638-377

東京営業本部 〒108-0075 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー
大阪支店 〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島2-8-8 ワークステーション新大阪1203
本社 〒370-0006 群馬県高崎市問屋町3-10-3 問屋町センター第2ビル 6F

